



## 湯の岳山荘の四季

池野上幸弘

今年は猛暑の夏でした。湯の岳山荘にはクーラーはなく、毎年、扇風機とウチワで夏を乗り切っています。

この暑さにも関わらず、農業班、整備班、プログラム勉強班、木工クラフト班のメンバーは予定された日の作業や研修を朝9時ごろから開始し、お昼になるとそれぞれの作業現場や研修場から山荘に戻り、持参した冷たい水を飲みながら、首にタオルを巻いて汗を拭き拭きの昼食をとっていました。

山荘の玄関先の池のほとりにソメイヨシノと山桜の大木がありますが、この下は大きな日影となり、かつ風の通り道となっていて山荘では一番涼しいところなので、今年も何人もこの場所で涼をとっていました。

セミ時雨がツクツクボウシになりやがて鳴き声が終わる頃になると「湯の岳山荘」の立て看板が設置してあるところから炭焼き窯に登る道脇にあるギンナンが大きくなってきます。やがて黄色になったギンナンが地面に落ちるのを見て秋の到来を実感します。

石窯、炭窯が並ぶ後ろ側は東傾斜の斜面で、そこに大きなイロハモミジがあり、11月下旬には見事な紅葉となります。夏、秋とバーベキュー等で利用された広場の東南側のドウダンツツジもまた競うように葉の色を変えています。

この時期にはギンナンを提供してくれたイチョウは9割がた落葉していて秋の終わりを告げています。

年により違いがありますが、12月上旬には池に薄氷が半分ほど張るようになります。

4年前ですが氷の張った池に落ち、周りが急斜面で這い上がれない大型の野犬を救助したことがあります。助けた人は本人が池に落ちないように注意しながら、救助する道具がなかったので、手でつかみ引き上げたのですが、必死にもがいている犬にいつ噛みつかれるかの恐怖を押さえての救出でした。犬はその場からすぐ立ち去って行きました。犬の命の恩人はこの会報の編集担当の伊藤貞夫さんです。

なおこの救助した現場には道はなく、普段は人が立ち入らない所です。

各年冬の池の全面結氷の初日は次のとおりです。(12/29～1/3は休館で記録なし)

2007年冬	2008冬	2009年冬	2010年冬	2011年冬	2012年冬
1/14	1/16	12/28	1/7	12/21	12/27

池は全面結氷したままで冬を越すのではなく溶けたり、氷つたりを繰り返しながら春を迎えます。山荘には研修室前の庭と炭窯近辺とに梅の木がそれぞれ1本あります。1月下旬から2月上旬には春の到来近いとのサインを送ってきます。

4月上旬アズマヒキガエルの大合唱があり、6月上旬または中旬のある日突然にその子ガエル多数が山荘周辺に出てきますが2日間程過ぎると姿が見えなくなります。山に向かったようです。桜はソメイヨシノ、山桜、八重桜と長く楽しめます。

2013年の山荘周辺の桜は花が少ない満開でした。ウソがつぼみを食べたからかなと思われま。春から夏にかけては木々の葉の色の変化を楽しめます。秋の紅葉とは趣を異にしますが、落葉広葉樹の葉がうっすらとした白緑色に変わり、やがて明るい黄緑色へと変化していくさまは、本当に見事です。

湯ノ岳山荘は身近な場所にありながら、生活の匂いがなく四季の変化を十分に感じる事が出来る素晴らしいところです。

# 森林整備班の活動

桑原敏和

森林整備班の主な活動については、下記表の通りです。

森林整備班活動一覧表 (H25.7.20~10.16)

No	月/日	曜	実施事項	名
1	7/20	土	「新舞子ふれあいの森」下刈り	25
2	7/24	水	炭焼き準備、大窯炭材の出し入れ	5
3	7/31	〃	炭焼き準備、小窯炭材の出し入れ	8
4	8/3	土	炭焼き開始(大、小窯火入れ)	2
5	8/7	水	猪侵入防止策、栗園跡地植樹箇所	7
6	8/17	土	山荘周辺草刈(観察1コース他)	6
7	8/21	水	薪割(炭焼き材・薪ストーブ用)	5
8	8/28	〃	杉林の落葉かき(筑波大学調査支援)	7
9	9/4	〃	山仕事手道具(鎌他)の手入れ	6
10	9/7	土	杉林の落葉かき(筑波大学調査支援)	6
11	9/11	水	杉林の落葉かき(筑波大学調査支援)	7
12	9/18	〃	杉林の落葉かき(筑波大学調査支援)	6
13	9/21	土	山荘周辺草刈	6
14	9/25	水	海岸林整備、新舞子病院前クロマツ	6
15	10/2	水	山荘・工房の整理と工具の整備	5
16	10/8	火	山荘周辺草刈	2
17	10/9	水	山荘・バンガロー草刈、トイレ掃除	6

名：会員の参加人数

○今年の夏は記録的な猛暑でした。森林整備作業には大変厳しい作業環境でした。作業中は安全を確保するため適宜休憩を取り入れました。

また、こまめに水を飲み熱中症の防止に努めました。今夏は幸いにも蜂の被害に会っておりません。これからが要注意と思われます。

○主な作業について記載します。

## 1.炭焼き(上記表 No2,3,4)

- (1) 準備 H25.7.24 平治窯大炭材の出し入れ。  
H25.7.31 平治窯小炭材の出し入れ。



H25. 7. 31 平治窯小炭材入れ作業

## 2.杉林の落葉かき(上記表 No8, 10, 11, 12)

筑波大学では東日本大震災後の森林環境調査を行っております。その調査区域の落葉かきを支援しました。

- (1) .実施 平成 25 年 8 月 28 日、  
平成 9 月 7 日、11 日、18 日
- (2) .場所 湯ノ岳生産森林組合杉の人工林
- (3) .面積 約 0.1ha



落葉かき作業

## 海岸林整備

松崎和敬

トチギ環境未来基地と協働で取り組んでいる「苗木 for いわき」プロジェクトに伴う海岸林の整備を行っております。今年度の実施状況は次のとおりです。

県外ボランティアは企業や労組のメンバーが大半ですが 9/28 には栃木県さくら市の小中高生が参加しました。

海岸林整備記録表

月/日	作業内容	参加者		
		県外ボラ ンティア	会員 他	計
5/19	地拵え作業	42	3	45
5/25	〃	22	9	31
5/26	〃 ・植樹	22	9	31
6/22	〃	30	3	33
6/23	〃	40	3	43
7/20	下草刈・いわき林 業会議所主催		25	25
7/27	地拵え作業	49	4	53
8/24	〃	28	7	35
9/25	〃		10	10
9/26	〃		4	4
9/28	〃	90	8	98
計		323	85	408



- 9/28 栃木県さくら市小中高校生による地拵え作業  
 海岸林整備今後の予定は次のとおりです。  
 10/26 静岡県ボランティアによる地拵え作業  
 11/15 栃木県さくら市上松小による植樹活動  
 11/21 いわき市藤間中と PTA による地拵え作業  
 11/23 「苗木 for いわき」プロジェクト植樹活動  
 11/24 //  
 11/30 //  
 12/01 //  
 12/05 いわき市藤間中生と PTA による植樹活動

### 海岸林育樹活動に参加

本会では震災以前から海岸林の育樹活動に参加しておりました。震災時海岸林の大切さを学びました。早く育ち丈夫な海岸林となることを願って今年度も参加してまいりました。

### 平成 25 年度新舞子ふれあいの森下刈り作業

- 1.主 催 いわき青年林業会議所
- 2.日 時 平成 25 年 7 月 20 日 (土)  
9 : 30 ~ 11 : 00
- 3.場 所 四倉町下仁井田須賀向国有林
- 4.参加者 本会より 25 名参加
- 5.作業内容

海岸林で「松くい虫抵抗性松」を昨年度植樹した場所 0.5ha 下刈りを実施しました。



下刈り作業スナップ

作業は手鎌の手作業で、暑さによる熱中症が心配でしたが、日差しが弱く海風もあり思ったより作業が進み気持ちの良い汗を流しました。

## プロ野球の森整備

松崎和敬

「プロ野球の森の整備に」あたっては、子供達を含む多くの市民参加によって行うことにしておりましたが、林内の放射線量の問題（いわき市における公園の利用基準は 0.23 マイクロシーベルト/時以下）がでてきたため、まず放射線量の低減のための作業を中心に現在まで行ってきました。

具体的には、プロ野球の森東側のスギの皆伐とモウソウ竹の伐採を行い、スギについては平成 25 年 5 月末迄に完了、モウソウ竹の方は全体の 1/3 位完了しました。伐採した竹の処理に大型チップパーを活用すると作業効率が 3~4 倍になる事がわかりましたので、これから伐採作業を加速させ、なんとか今年度中には完了させたいと思っております。

現在の放射線量はスギの皆伐の効果もあって大巾に減少し、0.23 マイクロシーベルト/時を上回っているところは、18ヶ所の測定地点中常緑樹の多い 2ヶ所になり、これについても近く除伐することにより、子供達にも作業できる環境の整備が出来る目途がつかしました。

10 月から整備作業を再開し、多くの市民の方々が作業しやすい環境を整え次第、参加のための PR を行って行きたいと考えております。

### <7~9 月の整備作業人員>

7/06	伐採木竹のチップパー処理作業	10 名
7/10	//	8 名
7/13	//	7 名

(チップパーによる伐倒竹の処理)



モウソウ竹のチップパー処理作業

## 木工クラフト班の活動 桑原敏和

木工クラフト班活動一覧表 (7月～10月上旬)

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加 人数
1	7/16	火	孟宗竹・真竹を材料とした ソーメン容器セット作り	9 (3)
2	7/21	日	帽子掛け(山桜+丸棒使用) 箸作り (専用カンナ治具)	3 (3)
3	8/6	火	第1回一輪挿し花瓶作り 材料はホウノ木	9 (3)
4	8/18	日	花瓶台 木の枝クラフト(名札鉛筆)	7 (3)
5	8/20	火	第2回一輪挿し花瓶作り 材料はホウノ木	9 (3)
6	9/3	火	第1回 表札作り	11 (3)
7	9/15	日	バターナイフ作り	2 (3)
8	9/17	火	第2回 表札作り	11 (3)
9	10/3	火	どんぐりクラフト 特大クマさん人形作成	10 (3)

参加人数覧 () 内数は指導者人数



一輪挿し花瓶に挑戦・慎重にホウノ木を削る

## 農作業 2013 年夏の活動報告

農作業班 太田 満

### 1. 収穫作業など。

じゃが芋、カボチャ、ブルーベリーなどの収穫を行いました。

- ① じゃが芋 : 7月8日
  - ② カボチャ: 8月5日、19日、24日
  - ③ ブルーベリー: 8月9日、19日など
  - ④ ハウストマト、スイカ: 7月29日、8月10日など
  - ⑤ さつまいも(一回目): 9月23日
- 種蒔き : ダイコン 9月2日、14日、28日  
大カブ 9月2日、20日 など

### 2. ビニールハウスのフィルム張替え作業

笠石の畑に設置してあるビニールハウスの天井部分の劣化により、破れがでたので9月30日に張替え作業を行いました。



ビニールハウスの張替作業

### 3. 草刈り作業の継続

夏草の成長が早く、毎月畑の周囲や農道などの草刈り作業を行いました。 7月8日、7月29日、8月5日、10日、19日、24日、26日、9月9日、22日、27日、28日

### 4. その他

① 農道の補修と除草作業:

9月14日、22日、27日

② ヘチマの収穫とタワシ作り。 8月、9月

③ 地主さんへ収穫野菜を届ける

カボチャ5kgほど。8月24日、26日

### \*\* 新規の参加者紹介 \*\*

今回は一昨年(2011年)の9月から新規加入して頑張る、太極拳の3人娘。志賀さん、吉田さん、高久田さんです。

吉田さんは家族会員で、旦那さんは整備班で活動中です。

3名ともに、自分の畑を持って野菜作りをしています。



自慢の野菜畑の前で

## ソバ栽培

### 1. 種蒔き

- (1) 栽培地：いわき市戸渡地内
- (2) 面積：0.2ha
- (3) 種蒔：平成 25 年 8 月 2 日（金）くもり  
列状蒔きとした。
- (4) 参加者：14 名  
種蒔きと同時にイノシシ防御対策柵の補修  
を実施した。（イノシシ防護柵は全長約 180m）



種蒔き作業



イノシシ防護柵補修作業

### 2. ソバ刈

- (1) 実施日 平成 25 年 10 月 14 日（月）晴
- (2) 参加者 17 名  
今年のソバは、幸い猪の被害は皆無でしたが  
出来具合は壊滅的な不作となりました。原因は  
夏の暑さと台風により倒れてしまったことが  
大きな要因とのことでした。  
豊作を期待して大人数で刈取に臨みましたが  
残念です。これが農業の実態です。良い経験を  
しました。



ソバ刈：時間の経過と共に声が出なくなる



ソバ刈と同時に脱穀まで済ませました

## 冬水不耕起田圃水稻栽培

（いわき市好間町）

### 1. 田植：平成 25 年 5 月 26 日（日）

### 2. 稲刈

- (1) 実施平成 25 年 10 月 5 日（日）天候小雨
- (2) 参加者：8 名



稲刈風景

足場がぬかる冬水不耕起田圃特有の稲刈でした。まだ収穫結果は出ませんが、今年は稲束が昨年より多く育ちが良いとの事でした。楽しみにしたい。

### 3. 脱穀

実施 平成 25 年 10 月 19 日（土）曇  
参加者 7 名

- ・収穫は思ったより多く品質も良く出来ました。
- ・稲わらは細かくし肥料にと水田にまきました。



脱穀作業

## 森の教室

### —どんぐりくんと森の仲間たち—支援

松崎和敬

国土緑化推進機構が昨年から実施している「つなぐ・ひろがる緑のリレー・プロジェクト」が福島県内各地で展開されることに伴い次のとおり支援しました。

9月 7日 田村市立緑幼稚園 園児 19名  
 9月 18日 広野町広野保育園 園児 9名  
 9月 19日 川内村

かわうち認保育園 園児 35名

このプロジェクトは幼稚園、保育園を通して園児といっしょに未来につなぐ「どんぐりの苗木」を育て、その育った苗木を植林していく活動を行うものです。

本会では、山からコナラの苗木を採取することと苗木をプランターに園児達が植えることの作業を手伝いました。

10月15日から17日の3日間は福島市内の3つの幼稚園の森の教室支援に行きます。今回はポットにどんぐりを植えて育てるためのお手伝いをします。

#### かわうち認保育園にて



プロジェクトについて園児へ伝える



プランターへ植える

## プログラム勉強会グループ活動

野口 紘

### 自然体験学習の支援活動

自然体験活動「五感を有効に使用する」を主に狙ういわきの森に、いわき市小学校教育研究会「生活科・総合学習 授業研究会」より講師依頼が有り出席致しました。各担任教師方も色々放射線問題では保護者の考え方も多種多様で・・・今のままでは・・・と積極的に考えている担任教師が多く居ましたことに、安心感と自然体験活動の対応に高揚感を感じさせられました。今後が楽しみです。会員の皆様には、PG活動に参加支援を頂く事をお待ちしております。

◎いわき市立小学校学習支援活動(7月～9月)

No	月/日	学校名	学年	学習	名
1	7/01	貝泊小中	全	総合	16
2	7/03	錦東小	3	総合	29
3	7/09	田人2小	全	総合	8
4	7/11	上遠野小	4	理科	42
5	7/16	上遠野小	4	総合	36
6	9/04	磐崎中	3	体験	3
7	9/05	磐崎中	3	体験	3
8	9/12	小川小	6	理科	34
9	9/20	錦東小	3	総合	29

◎いわき市立小学校 教員 教育研究会  
 7/26「生活科・総合学習 授業研修会」支援  
 講師依頼 受講者 教員 23名

◎いわき明星大学 科学技術学部学習支援  
 ・学校林整備・調査  
 7月 (7/05, 7/12, 7/129, 7/26)) 延 16名  
 8月 (8/16, 8/21, 8/23, 8/30) 延 16名  
 9月 (9/06, 9/13, 9/20, 9/27) 延 16名  
 ・9/28 自然体験プログラム  
 学生リーダー研修会 8名

◎筑波大大学院 生命科環境科学研究科  
 ・湯の岳 森林土壌調査支援  
 7月 (7/23～7/26 4日間) 延 7名  
 8月 (8/28, ) 延 1名  
 ・湯の岳 森林植生調査支援  
 8月 (8/5～8/9, 8/24～8/25) 7日間 延 9名  
 9月 (9/11～9/16) 6日間 延 8名

◎筑波大学 芸術系専門学群  
 ・東日本復興支援(映像系)プログラム支援  
 7月 (8/24～8/25) 2日間 延 28名  
 9月 (9/1～9/8) 8日間 延 120名

◎九州看護福祉大学  
復興ボランティア支援  
8月(8/5～8/9)5日間 延60名

◎公益社団法人 国土緑化推進機構  
森の教室 支援  
・9/17 田村市立 みどり幼稚園 19名  
・9/18 広野町立 保育所 9名  
・9/19 川内村立 かわうち保育所 35名

◎いわき市青少年育成市民会議  
小名浜支部支援  
・7/25 夏休み「木育 体験学習」支援 46名  
・9/29 親子ハイキング 支援 61名

◎地域の環境資源を活かす会  
(田人地区の環境資源 調査支援参加者)  
・1/19・11名, 8/22・13名, 9/26・14名

◎「ふくしま復興紙芝居まつり in 相馬」支援  
・9/01 参加者 約800名

◎ファミリーマート勿来南台店 開店記念  
「木育教室」支援  
・9/21, 9/22 延125名 参加

◎今後の活動について  
①プログラム研修会 湯の岳山荘  
(毎週木曜日 9:00～雨天決行)  
②いわき明星大学 学校林整備調査支援  
(毎週金曜日 9:00～雨天決行)  
③筑波大大学院 調査学習 支援  
④各学校 学習 支援

## 小学校学習支援活動

いわき市立小学校学習支援活動(7月～9月)で代表的な学校を記載します。 若森秀樹

### 理科学習支援(上遠野小学校)

上遠野小学校の支援活動は年間5回の実施を計画されております。

#### 第3回

1. 実施 : 平成25年7月11日(木)
2. 支援児童: 上遠野小学校4年生児童42名
3. 支援内容

#### せせらぎスクール学習支援

環境省(国土交通省)の全国水生生物調査(せせらぎスクール)に参加した、上遠野小4年生を支援し、鮫川水系の柿の沢にて調査を行いました。

- ・水質調査 温度、臭気、透視度、pH、COD(PAC試験)、流速・流量
- ・水生生物の調査

10分で柿の沢に到着。まず水質調査で、透視度、臭気をチェック。

次に、pH、CODのチェック。



pH, CODのチェック

続いてお待ちかね、水生生物の調査。網を持って川へ入ります。石の下や裏についた生物を、網で捕集します。



石についている生物を網で捕集

見つけた生物をトレーに集め、種類ごとに区分します。資料を基に名前を判定し、数を記録します。結果はまとめて環境庁へ報告。



川に入り調査

野外学習は楽しく、時間の経つのが早いと感じられたとの事でした。

天候に恵まれ活動が安全に終わったことが何よりでした。

## 理科学習支援（小川小学校）

今回小川小学校6年生の総合学習を支援することになりましたが同校は今回初めての授業で、総合学習で地層と土壌の勉強です。

1. 実施 平成 25 年 9 月 12 日（木）
2. 支援児童 小川小学校 6 年生 34 名
3. 学習テーマ  
地層と土壌の勉強。
4. 支援内容

学校から歩いて3分の、正月寺歳徳神社という小さな、でも由緒ある神社の境内で、地層・土壌と更に自然観察も行いました。



土壌の観察。A, B, C 層の厚さを測り、スケッチをして、サンプルを採取。



ここでは、地層の堆積もバッチリ見られ、近くに川底の隆起を示す砂利も見つかる貴重な場所です。

A 層の観察。シイの落葉をめぐってみると、菌糸と虫が見つかり、ちゃんと土壌が作られていることが観察できました。



ここで見つけたチャート。動物性プランクトンが固まったものです。こんなに大きいのは珍しい。



### 自然観察スナッフ

学校のすぐ近くで、地層・動物等そして植生の豊かさが観察できました。

また、正月寺歳徳神社境内には、なんと、当地方では珍しいマサカキ。直径 1.1m の巨大なスタジイも観察できました。

また、香のあるサンショウの葉っぱを味わい、サンショウとイヌサンショウの見分け方等を観察しました。

ムササビの生息が確認出来ました。杉の木に残したムササビの爪跡、その傷を修復するために出した樹液。杉の生きる力も観察できました。

学校に戻り、土壌サンプルを顕微鏡で観察してまとめました。次回は土壌の標本を作る計画です。

## 職場体験学習

若森秀樹

磐崎中学校で職場体験学習が実施され、湯ノ岳山荘に3名の女子生徒を受け入れました。

体験学習職場として山荘を選んだ主な理由として、「働いている人の気持ちを知らなかった」「旅館と違う体験が出来ると思った」「お客さまが笑顔になり楽しんでもらう」等がありました。

1. 実施月日  
平成 25 年 9 月 4 日（水）～5 日（木）
2. 中学校名 磐崎中学校 3 年生
3. 体験生徒 3 名の女子生徒  
(武田さん、久保木さん、中野さん)、
4. 体験学習

磐崎中学校 3 年生 3 名の方々は 2 日間の職場体験学習を行いました。

- ・本会の活動内容や、会員が本会への入会の理由と活動の苦労や喜びなどについて質問され各自入会の動機等を話しました。
- ・実際の作業への参加やインタビューなどを通して、理解を深めていただきました。
- ・本会が山荘で実施しているプログラムの一部を体験して頂きました。



# ろうきん森の学校 (平成 25 年 7 月～9 月)

若森秀樹

## (1)・木工クラフト

木の枝を使って、クマさん人形や鉛筆などを作りました。特に女の子に大人気の種目です。



木工クラフト・真剣に作品作りに集中

## (2)・植生調査

本会では一年間を通して調査を行っています。ちょっとした日当りの違いで、生えてくる植物の違いを観察した。また、名前を調べ優勢種を確認、森の調査を体験しました。

## (3)・野外料理体験

今朝盛り付けしたピザを持って石窯へ。



野外料理体験・石窯の前で



職場体験の感想を発表

体験学習期間は、生憎の天候不良のため、計画通りとは行かなかったのですが、学習の感想を聞きますと、山荘の業務を理解され十分楽しんでもらえたと思っております。

## 1.平成 25 年 7 月 21 日 (日) 晴

### (1) 実施内容

- ①自然観察会 夏の里山散歩
- ②花炭づくり体験
- ③野外料理体験

(2) 参加者 35 名 (ボーイスカウト 14 名の参加あり、にぎやかな森の学校になりました)

(3) 実施結果 自然観察 (コース 2)



ろうきん森の学校看板前にて

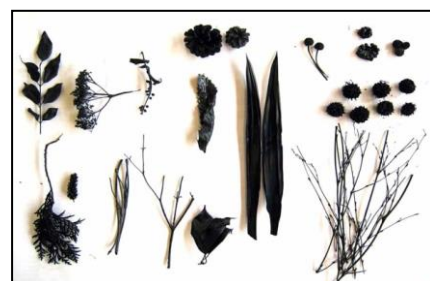
夏の里山を勉強、本日は思ったより多くの昆虫に出会いました。主な昆虫はコガネムシ、イラガノタマゴ、3 種類のセミノヌケガラ、そしてアリジゴクを観察 (地獄に落ちた虫が無事脱出するのを観察できた) 楽しい観察となりました。

その他、キノコやウワミズザクラの実なども観察できました。

また、花炭材料の採取を行い屋外の釜戸で焼きました。夏の火は体に薬と聞きましたがあつすぎでした。



里山の勉強



花炭作品集

## 2. 平成 25 年 8 月 18 日(日)天候 快晴 32℃

- ①自然観察会” 季節感を楽しむ里山散歩”
  - ②ネイチャークラフト (花瓶台の製作)
  - ③野外料理体験
- (2) 参加者 18 名 (新人 4 名参加)
- (3) 実施結果

### ○自然観察会 (観察コース 1・2)

森の中でも気温 30℃の酷暑、その中で珍しい発見がありました。まず、クヌギの樹液に国蝶オオムラサキ、初めて見たタラノキの花、触れると落下しそうな完熟したハナイカダの実等観察できました。



クヌギの樹液によってきた国蝶オオムラサキ



ハナイカダの実

タラノキの花

### ○観察された花等

<花>キンミズヒキ、ミズヒキ、カワラナデシコ、ブカナ、ベニバナボロギク、オミナエシ、オトコエシ、ウツボグサ、ヒヨドリバナ、アカツメクサ、タマアジサイ、タラノキ。

<実>ヤマウコギ、クリ、サンショウ、ムラサキシキブ、ハナイカダ、ヤブデマリ、スズカケノキ。

<甲虫>コクワガタ、カナブン、ベニハナカミキリ。

<蟬>アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシ。

<蝶>モンチチョウ、キチョウ、スジグロシロチョウ、モンキアゲハ、クロアゲハ、オオムラサキ、コムスジ、サトキマダラヒカゲ、ジャノメチョウ、ヒメウラナミジャノメ、ヤマトシジミ、ムラサキシジミ。

### ○木工クラフト



真剣なクラフト作成スナップ



野外料理のオンパレード

## 3. 平成 25 年 9 月 15 日 (日) 天候 雨

### (1) 実施内容

- ①自然観察会 季節感を楽しむ里山散歩
- ②ブルーベリー収穫体験
- ③ソバ打ち体験、野外料理体験

(2) 参加者 28 名

### (3) 実施結果

①自然観察会 台風接近で雨が止まない中、歩きやすい丸山公園と上部駐車場周辺を観察しました。まだまだ暑いと思っておりましたが花や実そして昆虫は確実に秋に向かっております。



ガズミの観察、赤い実は、色々な利用法があります。

### ○観察された花等

<花>ツリガネニンジン、オトコエシ、キンミズヒキ、ユウガギク、タラノキ、ノハラアザミ、オミナエシ、ツルボ、ヤハズソウ、ヤマハギ、メドハギ、ヒヨドリバナ。

<実>ヤマナシ、アケビ、マユミ、スズカケノキ、コナラ、イロハモミジ。

<昆虫>コスカシバ、キチョウ、モリチャバネ、ゴキブリ、コカマキリ、コオロギ。

<葉>サンショウ、ヤマナラシ。

<外来種>ブタナ、アカツメクサ、オオキンケイギク。

P10 より

## ②ブルーベリー収穫体験

蚊に悩まされましたが、無事収穫できました。



収穫後ブルーベリー畑にて

## ③ソバ打ち体験、野外料理体験

ソバ粉は戸渡で収穫の自家製粉です。

先生の指導のもと、みなさん真剣に取り組みました。

ソバ打ち指導スナップ



先生の指導のもと、よく練って大きく伸ばす



大きな包丁、うまく切れましたか？

ソバも、盛りだくさんの料理も、美味しくいただきました。



昼食風景写真

## 特別寄稿

東日本大震災後、湯ノ岳山荘を拠点にいわき市内で災害復興ボランティア活動を行っております、九州看護福祉大学の学生さんから、本会に2回目の特別寄稿がありましたので掲載いたします。

### 九州看護福祉大学学生ボランティア活動

学生代表 成清聖良

私たちは熊本県玉名市の九州看護福祉大学の学生ボランティアです。

今回、私たちはいわき市を中心に5日間、震災復興支援ボランティア活動を行わせていただきました。

具体的な活動としては、薬草を用いた足湯とタッチングケアです。小名浜地区ボランティアセンターの方々のご協力のもと、小名浜地区交流サロン、平七夕まつりスカイストア、為朝集落にて支援活動を行わせていただき、滞在中の拠点として湯の岳山荘さんに大変お世話になりました。

今回の活動を通して、2年半たった今でも長期化した問題が潜んでおり復興にはまだまだ時間がかかることを知りました。

また最近では震災についてメディアで報じられることが少なくなり、皆さんの震災に対する関心が薄れていっていると感じます。

そこで今私たちにできることは、自分たちの目で被災地を実際に見て、感じて、1人でも多くの人に正しい知識や現状を伝えることだと考えます。

忘れないことが一番の支援に繋がると思うので、それを個人ではなく皆で共有できるようにこれからも私たちなりの支援を続けていきたいと思えます。



学生ボランティアの皆さん

## キノコが出始めました 荒川周一

暑い暑いと思っておりましたがキノコの季節になりました。

キノコ栽培ハウスではマイタケ、ハタケシメジ、ナメコが収穫期となりましたのでお知らせいたします。是非見学下さい。



マイタケ、これまでの最大キノコは 800g でした



ハタケシメジ、味は最高級品



ナメコ、煮物にもあうキノコです

キノコは天日で乾燥するか冷凍すると味が良くなります。

山荘では、干しキノコ作成中です。イベント等で料理したいと思っておりますのでご期待ください。

<干しキノコつくり>

ハタケシメジ、



マイタケ

### 編集後記

10月に入ってキンモクセイが香はじめました。この芳香を吸うと体中が秋になります。

しかし今年の天候は異常に思えます。我が家の庭に浜菊が咲いたと思ったら、シャリンバイが満開です。また、夏井川には冬の使者白鳥が飛来したと思ったら、10/12には東京をはじめ各地で真夏日を記録しました。これは、明治8年気温観測史上初めての異常な暑とのことです。

その後10/16大型台風26号により伊豆大島に大規模な土石流被害が発生、多くの命が奪われました。この台風が日本列島をかすめ、太平洋を北上、今度は、台風に寒気が引き込まれ一気に冷え込んでしまいました。

10/16~17日にかけて吾妻山で初冠雪が観測されました。これは平年より6日、昨年より16日も早いそうです。寒くなりました。

今、会報「ヤマザクラ」No7編集作業中です。足が冷たくなりました。暖房がほしいです。

今度は台風27号が気になります。まったく変化が激しい天気、体調を崩さぬように。風邪は万病の元。(伊藤)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会  
(発行責任者) 松崎和敬 (編集担当者) 伊藤貞夫  
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2  
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <http://iwaki-mori.jimdo.com/>